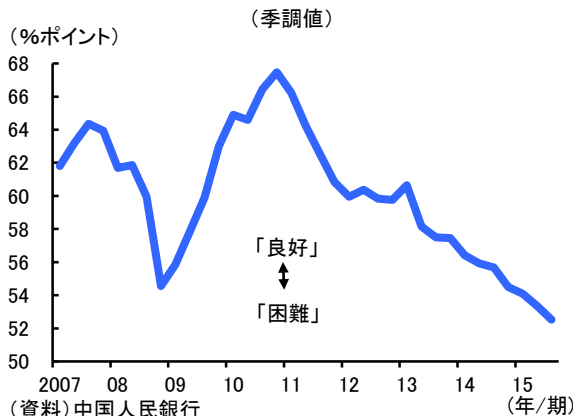


悪化する中国企業の資金繰り

— 急増する不良債権 —

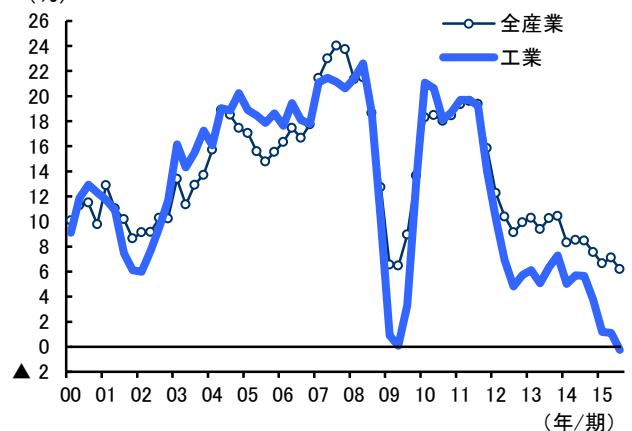
- (1) 中国人民銀行によると、2015年第3四半期の工業企業の資金繰りDIは52.5%ポイントと、前の四半期から▲0.8%ポイント低下。企業の資金繰りはリーマン・ショック時よりも厳しい状況に（図表1）。
- (2) この主因は、企業のキャッシュ・イン・フローの頭打ち。景気減速が持続するなか、2015年7～9月期の工業部門の名目GDPは前年同期比▲0.2%と、統計開始の1992年以来初のマイナスに（図表2）。このほか、企業の債務返済の負担増大や人件費の上昇なども企業収益の悪化要因に。
- (3) 企業の資金繰り悪化に伴い、銀行の不良債権が急増。中国銀行業監督管理委員会によると、2015年6月末の不良債権残高は1.1兆元と前年6月末対比57.2%増加（図表3）。不良債権比率は1.5%に上昇。
- (4) こうしたなか、金融機関の融資慎重化による景気下振れリスクに留意の要。政府の要請を受けて、銀行融資残高には持ち直しの動きがみられるものの、オフバランスの融資を含む社会融資総量の増勢は鈍化（図表4）。これは、不動産開発企業や地方融資平台への融資規制があったにもかかわらず、融資が積極化した2012年頃と対照的な動き。

(図表1) 工業企業の資金繰りDI



(注) 資金繰りDIは「資金繰り良好」-「困難」+50、調査対象は全国約5,000の工業企業、日本総研が季節調整。

(図表2) 名目GDP成長率(前年比)

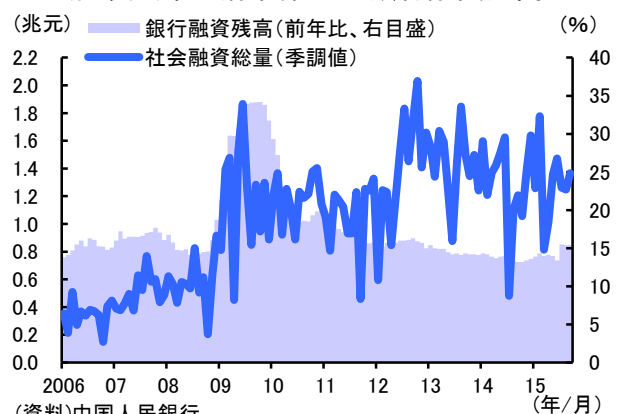


(注) 2014年の工業部門の名目GDPは22.8兆元と全産業の35.9%。

(図表3) 不良債権残高(前年比)



(図表4) 社会融資総量と銀行融資残高



(注) 日本総研が季節調整。